

ScholarOne Manuscripts リリースノート

2025 年第 1 四半期リリース

目次

異常アクティビティ検出ツールの改善点	2
論文を重大度順に並べ替える新機能	2
新たに期間データが組み込まれました	2
UAD レポートに「リンクされた投稿」という名前の新しいタブが追加されました	3
[以前の検出記録] セクションが更新されて情報が追加されました	4
UAD レポートポップアップにタブが追加されました	5
UAD レポートが「対処済み」の場合の背景色の書式:	6
異常アクティビティ検出レポートの改善点	7
ScholarOne API と Relay	8
API の開発	11
/api/s1m/v2/submissions/full/metadatainfo/documentids api の新バージョン	11
新しい api: /api/s1m/v3/submissions/full/metadatainfo/submissionids	12
論文にメモを追加できる新しい POST API	13
期日の更新通知のメッセージ本文に外部 ID が追加されました	14
リマインダー E メールの問題が修正されました	14

異常アクティビティ検出ツールの改善点

論文を重大度順に並べ替える新機能

中リスクと高リスクの論文がスコア順に表示されるようになり、管理者や編集者が効率的に問題に優先順位を付けられるようになります。

不正の疑いが検出された論文	
論文 ID ↑ UAD Score	論文
論文種別	査読

ユーザー:

編集者

管理者

構成は不要です。

デフォルトで使用可能です。

新たに期間データが組み込まれました

指定されたコンピュータ上でアラートがアクティビティを登録した特定のデータ期間が追加されました。これには、アラートに関連するタイムラインの包括的な理解を促進するために、アクティビティの開始時刻と終了時刻、および関連するタイムスタンプを含める必要があります。

- 68 Submissions outside of this journal
- First occurrence of this device: 05:53 ET, 06 Oct 2018
- Latest occurrence of this device: 10:38 ET, 01 Jun 2024

ユーザー:

編集者

管理者

構成は不要です。

デフォルトで使用可能です

UAD レポートに「リンクされた投稿」という名前の新しいタブが追加されました

このタブには、発行者のポートフォリオ（ペーパーミル）内のさまざまな雑誌でコンピュータが処理した投稿の数について、詳細なインサイトが表示されます。ここで提供されるデータには、雑誌名、投稿日、各投稿のステータスによる投稿の内訳が含まれます。

Unusual Activity Report

[Report](#) [Instructions](#) [Linked Submissions](#)

The following submission should be evaluated by the journal staff due to unusual activity.

Report Date: 12:13 ET, 04 Oct 2024
Manuscript ID: [REDACTED]
Title: [REDACTED]

Search:

Device Id	MS ID	Author	Reviewer	JOURNAL	Submitted Date	Title
3e1f13(R)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	16-Feb-2019	[REDACTED]
3e1f13(R)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	03-May-2019	[REDACTED]
3e1f13(R)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	27-May-2019	[REDACTED]
3e1f13(R)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	22-Sep-2019	[REDACTED]

ユーザー:

編集者

管理者

構成が必要です。

ご不明な点がございましたら、ScholarOne サポートチームにお問い合わせください。

[以前の検出記録] セクションが更新されて情報が追加されました

[以前の検出記録] セクションを更新し、以下の追加情報を掲載しました。

- レポート更新の理由（例: 修正が必要な論文タスク）。
- レポートが更新された日付。

不正検出レポート

[レポート](#) [査読について](#)

以下の不正の疑いが持たれる活動が検出されましたので、必要時は調査を行ってください。

検出日: 2025-3-8, 01:13 ET
論文 ID: 20250308010000000000
タイトル: 20250308010000000000

Report generated on 01:13 ET, 08 3 2025 by a 決定 event

同じネットワークアドレスを共有 ②

1. 検出日: 20250308010000000000 検出日: 20250308010000000000
2. 検出日: 20250308010000000000 検出日: 20250308010000000000

査読所要時間が非常に短い ②

1. 検出日: 20250308010000000000

IP アドレス ②

1. 検出日: 20250308010000000000 検出日: 20250308010000000000
2. 検出日: 20250308010000000000 検出日: 20250308010000000000
3. 検出日: 20250308010000000000 検出日: 20250308010000000000

以前の検出記録

検出日: 2025-3-8, 01:13 ET

レポートの表示

Report generated on 01:24 ET, 08 3 2025 by a 提出 event

投稿者により最新の改訂版に追加された著者 ②

ユーザー:

編集者

管理者

デフォルトで使用可能です。

UAD レポートポップアップに新しいタブが追加され、お客様がエンドユーザー向けにカスタマイズした説明を含められるようになりました。この説明は、ユーザーが論文の UAD レポートを確認するときに十分な情報に基づいて意思決定できるように支援することを目的としています。

不正検出レポート

査読について

以下の不正の疑いが持たれる活動が検出されましたので、必要時は調査を行ってください。

タイトル:

 印刷

Report Instructions	
編纂者	EIC Instructions
編集者	Editor Instructions
管理書	Admin Instructions

編輯者

管理者

構成が必要です。

ご不明な点がございましたら、ScholarOne サポートチームにお問い合わせください。

UAD レポートが「対処済み」の場合の背景色の書式:

「対処済み」（クリア済み）としてマークされた UAD レポートの背景色の書式を柔軟に変更できるようになり、常に緑色で表示される必要はありません。この調整により、ユーザーが特定のレポートを開いて自身に関係がありそうな背景情報を確認することが重要である場合に、そのレポートを簡単に特定できるようになります。

不正の疑いが検出された論文				論文 1-2 / 2
論文 ID UAD Score	論文タイトル	投稿日	ステータス	作業を行う
論文種別	著者(投稿者)			
クリア済み		2025-3-4	* 査読者の選択 (期限 2025-3-14) 候補人数 0; 依頼済み人数 0; 承諾済み人数 0; 辞退済み人数 0; 査読提出数 0	選択...
元の記事				選択...

ユーザー:

編集者

管理者

構成は不要です。

デフォルトで使用可能です。

異常アクティビティ検出レポートの改善点

用語集の更新:

- STEM（科学、技術、工学、数学）や社会科学を含むさまざまな学術分野の編集者にとって、より明確で使いやすい用語集にするために、用語集を改訂しました。この改訂の目的は、どのような分野の編集者でも理解できる適切でアクセスしやすい用語と定義を実現することです。
- 弊社の第一の目標は、学术界のさまざまな分野の編集者が、理解を深め、積極的に関与してもらうことです。明確性を重視することで、学問分野の違いによる理解のギャップを解消することを目指しています。
- さらに、UAD（異常なアクティビティ検出）ツールに関連するすべてのトレーニング教材は、徹底的な見直しと更新作業が行われています。これにより、改訂された用語集と関連リソースが弊社のトレーニングプログラムにシームレスに統合されます。
- さらに、特定のニーズが発生した場合には、そのニーズに合わせたアドホックトレーニングセッションを企画して実施します。これらのセッションでは、編集者が改訂されたトレーニング教材についての理解を深め、UAD（異常なアクティビティ検出）ツールに関連する議論を行う機会を提供します。

ユーザー:

編集者

管理者

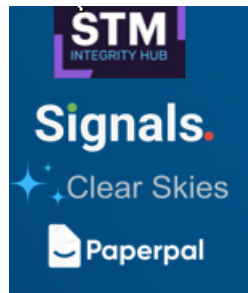
構成は不要です。

デフォルトで使用可能です。

ScholarOne API と Relay

新しく開発された API（Application Programming Interface）は、カスタムフラグをベースとしており、当社パートナーのいずれかから整合性に関するシグナルを受信すると、論文に自動的にフラグを付けます。このプロアクティブな対応により、ScholarOne の論文処理プロセスにおける高い水準の整合性と品質を維持することができます。

The screenshot displays the ScholarOne submission interface. At the top, a navigation bar shows '論文チェックリスト' (Article Checklist) and 'WRK4-2025-0029 の詳細' (Details of WRK4-2025-0029). Below this, a red banner indicates '発行用環境ではありません' (Not an environment for publication). The main content area is titled '論文詳細' (Article Details) and contains a section for '論文チェックリスト' (Article Checklist). The checklist shows a status of '完了' (Completed) for 'WRK4-2025-0029' with a red 'Alert' icon. Below the checklist, there is a table with columns for '論文 ID' (Article ID), '論文タイトル' (Article Title), '投稿日' (Submission Date), '採査通知 / 著者回答' (Review Notification / Author Response), and '移動' (Move). The table contains one row with the article ID 'WRK4-2025-0029' and title 'Custom Flags'. The submission date is '2025-3-16'. The '採査通知 / 著者回答' column is empty. The '移動' column has a '移動' (Move) button. Below the table, there is a section for '著者の入力情報' (Author Input Information) with fields for '論文種類' (Article Type) set to '元の記事' (Original Article), 'タイトル' (Title) set to 'Custom Flags', and '論文 ID' (Article ID) set to 'WRK4-2025-0029'.



呼び出しの例:

getSubmissionInfoCall:

setCustomFlags (POST):

本文:

```
{
  "input": {
    "customFlagsList": [
```



```
{  
  "documentId": 2949065  
  
  "customFlagName": "Alert",  
  
  "setFl": 1  
  
}  
]  
}
```

フラグ名:

警告

注意

OK

ユーザー:

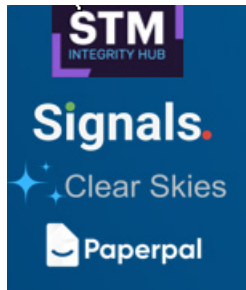
開発者

ScholarOne Web Services クライアントが必要です。

お客様のアカウントで API を有効にして構成する方法については、ScholarOne サポートチームにお問い合わせください。

ScholarOne Relay

ScholarOne Relay という名称の、新たに開発された API（アプリケーションプログラミングインターフェイス）です。第 1 段階であるデータの受信は、2025 年第 1 四半期に ScholarOne に導入される予定です。現在、第 2 段階の開発に取り組んでおり、ユーザーインターフェイス（UI）に表示される新しい整合性レポートが特徴となります。今後の開発の目標は、パートナーシッププログラム内の整合性を可能な限り統合することです。



技術的詳細:

- ScholarOne Relay は、さまざまなベンダーからのデータを処理するための汎用 API エンドポイントです。
- JASON ファイルおよびペイロードに基づいています。

```
Example POST API call:  
https://mc-beta-api.manuscriptcentral.com/api/s1m/v2/system/addJSONData?site_name=qared  
  
{  
  "data": {  
    "payload": {},  
    "type": 1  
  }  
}
```

- **統合の合理化:** 新しい API は、ベンダーを既存のワークフローに組み込むために要する時間を大幅に短縮し、スムーズなコラボレーションと迅速な実装を実現します。
- **さまざまな用途に対応:** 柔軟性を重視して設計されており、研究の完全性の確保に限らず、さまざまな用途に対応できます。
- **共同パイロットプロジェクト:** この API は、研究の整合性を確保するために複数のパートナーとの間でテストを行うパイロットプロジェクトの実施をサポートし、お客様が各パートナーのソリューションを効率的に試して検証できるようにします。
- **改善された機能:** この API はプラットフォーム内でのプラグインをサポートしているため、迅速な更新と改善を可能にし、最新の機能のメリットをユーザーにいち早く届けることができます。
- **発行者による受け入れを簡素化:** ワークフロー内のアドオンを統合することで、発行者が新機能を採用しやすくなり、より効率的なオンボーディングプロセスが実現します。

ユーザー:

開発者

ScholarOne Web Services クライアントが必要です。

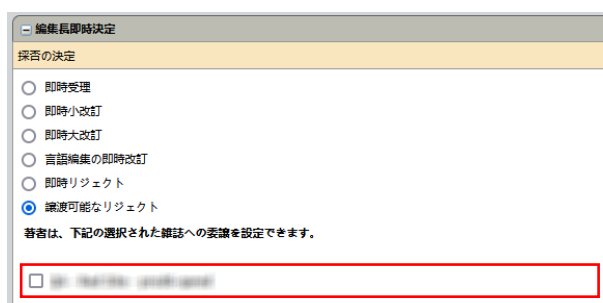
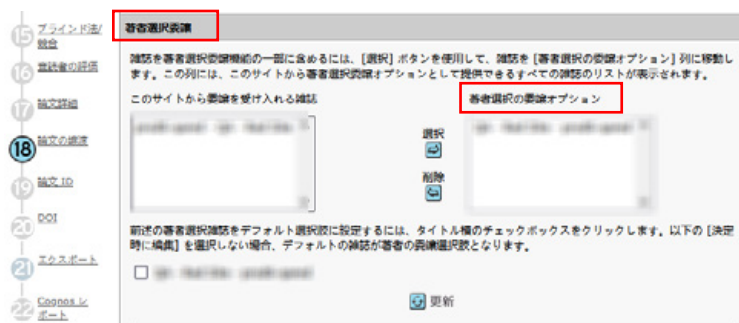
詳細については、ScholarOne Support チームまでお問い合わせください。

API の開発

/api/s1m/v2/submissions/full/metadatainfo/documentids api の新バージョン

authorChoiceTransferOption サブフィールド内に記述されたすべての著者選択オプションのリストである **authorChoiceTransferOptions** フィールドを追加した、getSubmissionInfoFullDocumentId v2 API の新バージョンが開発されました。

サイト設定:



API 呼び出しの例:

URL: https://mc-beta-

api.manuscriptcentral.com/api/s1m/v2/submissions/full/metadatainfo/documentids?site_name=xyz&ids=%1234567%27,%12345678%27&environment_name=s1m-1

本文:

```
{{{}  
"input": {  
  "documentId": 1001644,  
  "noteTitle": "Note title here",  
  "noteText": "This is the text of the document note"  
}  
}
```

返答の例:

```
<authorChoiceTransferOptions>  
  <authorChoiceTransferOption>Test</authorChoiceTransferOption>  
  <authorChoiceTransferOption>Test1</authorChoiceTransferOption>  
  <authorChoiceTransferOption>Test 3</authorChoiceTransferOption>  
  <authorChoiceTransferOption>Test 4</authorChoiceTransferOption>  
</authorChoiceTransferOptions>
```

新しい api: /api/s1m/v3/submissions/full/metadatainfo/submissionids

新しい api、 /api/s1m/v3/submissions/full/metadatainfo/submissionids が開発されました

この API には、 /api/s1m/v3/submissions/full/metadatainfo/documentids と同じフィールドがすべて含まれています

API 呼び出しの例:

https://mc-beta-
api.manuscriptcentral.com/api/s1m/v3/submissions/full/metadatainfo/submissionids?site_name=xyz&ids=
%123-2024%27&environment_name=s1m-1

返答の例:

```
authorChoiceTransferOptions>  
<authorChoiceTransferOption>Test 1</authorChoiceTransferOption>  
<authorChoiceTransferOption>Test 2</authorChoiceTransferOption>  
<authorChoiceTransferOption>Test 3</authorChoiceTransferOption>  
<authorChoiceTransferOption>Test 4</authorChoiceTransferOption>  
</authorChoiceTransferOptions>
```

エラーコード付き API 呼び出しエラーリスト

1. ids
 - 無効な配列値のエラーコード: "WVLD-11670" 値 {1} はパラメーター ids では無効です
 - 無効な csv リストのエラーコード: "WVLD-11671" 値 {1} はパラメーター ids では無効です
 - 最大カウント超過のエラーコード: "WVLD-11672" パラメーター ids の最大カウント 25 を超過しています
 - 値がない場合のエラーコード: "WVLD-11673" パラメーター ids には値が必要です
2. site_name
 - 値がない場合のエラーコード: "WVLD-11674" パラメーター {0} には値が必要です
3. locale_id
 - 無効なタイプのエラーコード: "WVLD-11675" 値 "{1}" はパラメーター {0} では無効なタイプです

論文にメモを追加できる新しい POST API

論文にメモを追加するための新しい POST API が開発されました。

- メモのタイトルの制限は最大 100 バイトです。
- メモの本文の制限は最大 5K です。

メモの追加は査読履歴に記録され、メモの [更新者] 列にシステム経由で追加されたことが記録されます。POST API は、特定の API キーアクセスを有するサイトにのみ追加が許可されます。

API 呼び出しの例:

URL: https://mc-beta-api.manuscriptcentral.com/api/s1m/v2/document/addNote?site_name=xyz

本文:

```
{
  "input": {
    "documentId": 11236789,
    "noteTitle": "Note title here",
    "noteText": "This is the text of the document note"
  }
}
```

エラーコード付き API 呼び出しエラーリスト

1. locale_id

1.1. エラーコード: "WVLD-11592" locale_id のタイプがパラメーターとして間違っています（整数が必要なタイプ）

2. documentId

2.1. エラーコード: "WVLD-11593" documentId が必要です

2.2. エラーコード: "WVLD-11594" documentId が長すぎます（最大 40 文字）

2.3. エラーコード: "WVLD-11595" documentId のタイプがパラメーターとして間違っています（整数が必要なタイプ）

2.4. エラーコード: "WVLD-11596" documentId の値の範囲が間違っています（指定できる範囲は 0 ～ 12,147,483,647）

3. noteTitle

3.1. エラーコード: "WVLD-11597" noteTitle が必要です

3.2. エラーコード: "WVLD-11598" noteTitle が長すぎます（最大 100 文字）

3.3. エラーコード: "WVLD-11600" 無効な内容です（例: noteTitle として <script>test</script> を指定）

4. noteText

4.1. エラーコード: "WVLD-11599" noteText が長すぎます（最大 10000 文字）

4.2. エラーコード: "WVLD-11600" 無効な内容です（例: noteText として <script>test</script> を指定）

期日の更新通知のメッセージ本文に外部 ID が追加されました

通知ペイロードに新しい **externalSubmissionId** という要素が加わります。この要素の値は、雑誌のスタッフが論文の提出期限を変更するときの外部数値です。

通知についてサイトを構成する必要があり、通知は [システムイベント] > [期日の更新]（著者/共著者） > [期日の更新通知] に設定されます。

リマインダー E メールの問題が修正されました

以前は、編集者が再アサインされた際にリマインダー E メールが送信されませんでした。今回、システムを更新し、編集者が再アサインされた際に、**編集者の選択、依頼、およびアサインタスクがリセットされ**、新たにアサインされた編集者に対してリマインダーが自動的に再スケジュールされるようにしました。